

第47回会合

1月26日 CVV 定例会議事要旨

日時：2023年1月26日(木) 午後5時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者(順不同・敬称略)：19名(会員・会友 リモート参加を含む)

古田・川谷・野坂・祝・鈴木・南荘・吉岡・田中・石原・武・今岡・下土居・荒武・栗田・齋木・福岡・先本・夏秋・黒山

<配布資料>

- ① 11月30日定例会議事要旨(黒山)
- ② 湊川隧道・和田岬砲台等の土木・産業遺産見学会について(南荘)
- ③ いきいき活動について(3種類)(鈴木)
- ④ 大和川沿いの橋梁見学会(2) (各橋梁の資料を含む)(武・野坂)
- ⑤ 橋梁模型コンテスト参加報告(石原)
- ⑥ 技術継承幹事活動報告(3種類)(吉岡)
- ⑦ CV用語辞典(今岡)

<主な議事>

古田代表の挨拶の中で、支部への助成金申請書に関して現支部幹事長と協議したことが紹介された。次に黒山が資料確認した。その後の主な議事は以下のとおり。

1. 川谷幹事長ならびに栗田氏から新規メンバーの入会申請がなされた。明石高専教授の鍋島康之氏が会友に、国土交通省OBの古川博一氏が会員となることが承認され、入会手続きを進めることとなった。
2. 湊川隧道・和田岬砲台等の土木・産業遺産見学会について(南荘 資料②)
資料②に基づいて湊川隧道等の見学会ならびに前畑氏の講演会について報告された。その後、HPへの掲載案が示された。なお、森氏が和田旋回橋の選奨土木遺産プレートを撮影のため保管先まで出向かれたことが田中氏から紹介された。
 - 清水氏のまとめは土木遺産調査の従前のHPへの掲載スタイルと異なるので合わせた方がよいのではないかと。また、これまでの調査報告を冊子化(例えば土木学会土木遺産紹介本のように)を検討してよいのではないかと。(栗田)
 - その後、HP上での記事掲載スタイルについて以下のような意見が出たが、最終的には担当者間で調整することとなった。
 - 例えば活動記録は従来の様式で、土木遺産調査全体の報告書は清水氏のスタイルとすると言った手法もあるのでは。(南荘)
 - 報告書はフォーマットを決めた方が掲載内容に抜けが生じないのではないかと。(夏秋)
 - 最近入会したのでCVVのホームページの構成がよく解らない(旧活動記録と現在の記事との関係や記事構成区分など)。また、施設見学での記事の内容も我々世代が感じたことを記載するのがCVVのHPとしてふさわしいのではないかと。(今岡)
 - 京都の土木遺産調査時の報告書もHP担当と内容や記述様式について喧々諤々協議調整した。(栗田)

3. いきいき活動について（鈴木 資料③）

資料③をもとに今年度内のいきいき活動（3回）が報告された。また、次年度の計画内容が承認された。なお、前畑氏から CVV と湊川隧道関係者とのコラボも提案されているとのことである。

➤ 教材作成等手伝いが必要なら連絡ください。（南荘）

4. 大和川沿いの橋梁見学会の報告（武 資料④）

資料④をもとに大和川沿いの橋梁調査を報告した。各橋梁の記述内容に若干差があるので見直したい。

➤ ホームページの記載タイトルに「調査」とか「見学」など混在しているのである程度統一した方がよいのでは。（南荘）

➤ 「調査」がふさわしいのではないか。（川谷）

5. 橋梁模型コンテスト参加報告。（石原 資料⑤）

資料⑤に基づき審査員として参加した橋梁模型コンテストの報告があった。

6. 技術継承幹事活動報告（吉岡 資料⑥）

技術継承について、資料⑥に基づいて前回定例会以降の取り組み状況を報告した。

➤ 「CVV な男たち女たち」パンフレット状チラシの作成部数は100部とすることを決定した。

➤ 地盤工学会関西支部において学校向けや会員間での講習会で講演可能な内容を提示してもらうアンケートを実施した。こういった取り組みも参考になるのではないか。（南荘）

➤ これと同様に CVV メンバーが対応可能なリストを HP に掲載することも有効ではないか。（黒山）

7. CV 用語辞典作成提案（今岡）

資料⑦に基づいて、死語・廃語・古語・瀕死語となっている建設関係の用語辞典作成の提案があった。ウィキペディア的な作成を想定している。

➤ 作成の是非も含めて、次回以降議論したい。（川谷）

➤ ホームページを使うなら HP 担当が参画すべき。（夏秋）

➤ 以前は HP に投稿ページがあったが変な書き込みがあり削除した。別の手段を検討してもらいたい。（田中）

➤ どれぐらいの用語を想定しているのか。土木用語辞典からピックアップすることも可能かもしれない。（南荘）

➤ 建設技術協会の業務で同様の趣旨で案を作成した。次回定例会で参考に提示してもよい（内部資料として）。1000語近くある。（先本）

8. その他

➤ 学会関西支部年次学術講演会の開催が春から秋に変わる事となった。概要集が作成されるか未定であるが過去概要集に掲載していた「活動報告」を来年度も総会開催時を目処に作成したい。（川谷）

➤ HP で過去の資料を検索し易くしたい。HP を常にチェックできる体制を再構築したい。（川谷）

➤ 次回は 2023 年 3 月 9 日（木）17 時半から開催する。